

やまゆりニュース

平成 25 年 6 月 第 14 号

全国知的障害児者生活サポート協会発足から 6 年目、やまゆり知的障害児者生活サポート協会が傘下にはいって 5 年目を迎えることになりました。旧やまゆり互助会発足当初からの思いと変わらずこの保険があることで、会員や被保険者の皆様が日常において、病気の入院、ケガの入・通院、他人や施設の物を壊したり、他人にケガをさせたりしたとき、補償を受けることにより少しでも経済的に、精神的に余裕を持っていただけることを目標に毎日窓口業務を行っています。

今週は、今日は、給付申請が少ない。どうしたのだろうか？また施設によって、または個人の方の申請が少ない。どうしてだろうか？内容はよく知られているのだろうか？もっとと会員の皆様全てに、この保険を必要な時に使っていただきたいと切実に感じ、毎年 2 月頃、既加入者全員にもパンフレットをお送りしています。時々眺めてみて大いにご利用ください。

また、当サポート協会は次の事業を行っています。

- (1) 本人の日常生活にかかわる相談支援事業 ⇨ 毎月第 3 月曜日 11:00~15:00
当会館内（電話 & 来館相談受付）
 - (2) 本人の就労支援に関わる相談支援事業 ⇨
 - (3) 本人の権利擁護に関わる事業 ⇨
- ・年 2 回の研修会…全会員・職員様向け
・本人様・支援者(家族・職員)支援研修会
(年 2 回)
- いろいろご参加、ご利用お待ちしております。

平成 25 年度上半期予定事業

○権利擁護事業

日 時：平成 25 年 7 月 29 日(月) 10:00~12:00

場 所：神奈川県社会福祉会館 2 階ホール

講 師：平本 譲 氏 足利短期大学 准教授

テーマ：「福祉施設等における権利擁護を考える」

～利用者と支援者、いずれもが人として権利を
守られる、虐待のない支援現場を作るために～

参加費 無料!!

どなたでも
参加できます



平成 25 年度加入状況

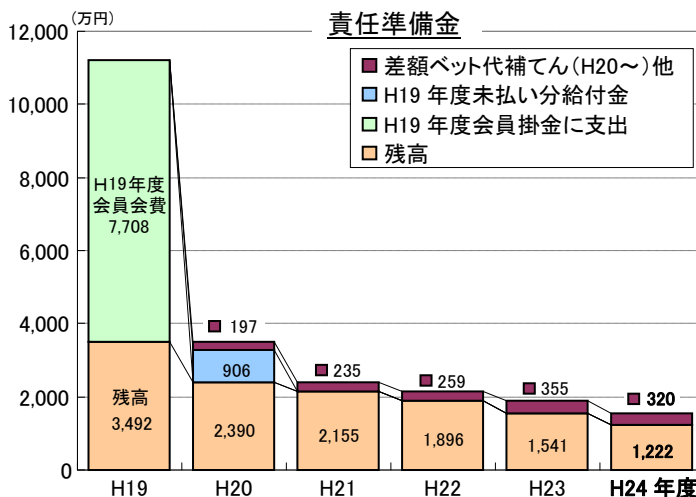
平成 25 年度 6 月 1 日付までの予定加入者数は 7,300 名余です。ありがとうございます。毎月 1 日付で途中加入を受け付けていますので引き続きよろしくお願いします。

平成 24 年度の運営状況等

旧やまゆり互助会の責任準備金の状況は、次のとおりです。

○責任準備金は、平成 19 年度会員会費と平成 19-20 年度の入院給付金(互助会分)に使われた後は「差額ベッド費用補てん」の給付に使われています。

平成 24 年度の「差額ベッド費用補てん」の給付は、年間 147 件、支払総額約 320 万円(含送金手数料)、平均給付額は 21,000 円余でした。



1 理事会の開催

- (1) 第1回(平成24年4月17日)
- ① 平成23年度共催事業報告について決済をした。
 - ② 平成23年度事業報告および決算について審議し決定した。
 - ③ 平成24年度事業計画および予算について審議し決定した。
 - ④ 役員を選任をした。

2 総会の開催

- (1) 第1回(平成24年4月17日)
- ① 平成23年度共催事業報告の決済結果の報告を受け承認した。
 - ② 平成23年度事業報告および決算について承認した。
 - ③ 平成24年度事業計画および予算について承認した。
 - ④ 役員承認をした。

3 理事会の開催

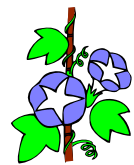
- (2) 第2回(平成24年6月18日)
- ① 平成24年度サポート事業について、6月13日の事業推進委員会の報告があり承認した。
 - ・年間研修会予定について(権利擁護1・生活支援1)
 - ・第1回の権利擁護の研修会について
7月30日 市川 和彦氏を講師に招き、県社会福祉会館ホールにおいて開催することが報告され承認した。
 - ・平成24年度支援者支援会議について
9月～11月に行うことが報告され承認した。
 - ・相談支援事業について
相談室「やまゆり」平成23年10月より試行期間として月1回第3日曜日11:00～15:00で開設してきたが、当面は試行期間と同じように続けていくことを決定した。
 - ② 全国サポート協会理事(安藤 浩己氏)より
 - ・理事会(5月7日)と総会(6月11日)について報告があった。
 - ③ その他
 - ・川島 博子氏(本会会員代表議員)平成22年度・23年度に続き書面表決による選任をすることを決定した。
 - ・JICより近況報告があった。
 - (3) 第3回(平成24年9月6日)
 - ① 平成24年度共催事業計画書を審査し承認した。
 - ② 平成24年度サポート事業(8月8日事業推進委員会)の報告
 - ・研修事業について
7月30日 市川 和彦氏の研修会の報告があった。
130名を越す参加者があり、アンケートの内容も好意的なものがほとんどだったと事務局より報告がされた。後期の研修会は平成25年1月頃テーマは「日常生活を考える、障害者の健康について」を予定。
 - ・本人活動支援事業について
10月29日 本人・支援者会議と11月12日 支援者支援研修会議の企画案
平成23年度と同様に本人・支援者会議は開催予定だが、新たに支援者支援会議を予定しているとの報告があった。
 - ・相談支援事業について
今までの相談リストをつくり、この相談がどういう意味を持つのか今後 どうするのが良いかを検討していきたいとの報告があった。
 - ④ その他
 - ・JICより報告(重田社長より)
8月6日に本社事務所を移転した。
個人賠償保険を法人後見人が請求できるようになる件・・・現在細かい詰めをしているので、いずれ書面でご案内をしていきたいと思っている。
AIU保険会社が平成25年4月1日に日本法人化し「AIU損害保険株式会社」となる。
 - (4) 第4回(平成25年3月28日)
 - ① 平成25年度の予算審議をした。
 - ・平成24年度の決算概算報告を基に行われた。
 - ② 平成25年度共催事業審議について
 - ・構成団体1団体の共催事業2件分を審査し承認した。
 - ③ やまゆり自主事業の現状と今後の進め方について
 - ・会長より平成24年度自主事業の結果報告と平成25年度自主事業の進め方の報告がされ、承認した。
 - ④ 全サボ理事会の報告(安藤 浩己全サボ理事)
 - ・会員数は年間目標86,000名余を達成した。
 - ・被災地支援(インターネットを利用して物品の販売)を考えている。
 - ・「AIU保険会社」が4月1日から日本法人化すると報告があった。
 - ⑤ JICからの報告
 - ・被災地支援・・・被災地、施設、作業所、ご本人さんがつくったものを、インターネットで販売する。「e-MoMoT」というショッピングサイトを使う。

⑥ 障団連からの報告

- ・体制の変更があり、各団体が雇用形態が全く違うので各団体雇用の形をとり各団体が給与を払う。家賃は今までどおりの支払い方なので、3団体が順番で事務を担当する。ただ各団体が拠出していた事務負担金は今までより軽くなる。

4 事業推進委員会の開催

- (1) 第1回(平成24年4月9日)
- ・平成23年度事業実績に基づき平成24年度の計画をした。
 - ① 研修会事業計画について、権利擁護で1回、生活支援で1回の計2回を計画した。
 - <権利擁護研修会>
障害者虐待防止法の施行(10月から)を控え、そこに焦点を当てた研修会とする。
講師はテーマにふさわしい方を考えていく。
 - <生活支援研修会>
介護職・医療職による医療的ケアの問題点に関する研修会とする。
講師はテーマにふさわしい方を検討する。
時期は12～1月で設定したい。会場は横浜川崎を考えている。
 - ② 本人活動支援者支援会議計画は、5年計画の3年目を計画する。
 - ・5月にはチーム打ち合わせを計画し、詳細は後日日程調整などをする。
 - ・本人活動を推進できる個人と職員の一定の支援者の核を育てる。
 - ③ 相談事業計画
 - ・平成24年度も引き続き電話相談を継続する。
 - ・平成24年度前半の6ヶ月は試行期間と同じに月1回(第3日曜日)実施する。年度半ばで評価し今後を検討する。
 - ・支援情報の整備を検討、実施する。
 - ・相談員の処遇を検討する→やまゆり事業推進委員会で。
 - ・将来は国や市長村が検討している恒久的支援サービスへの橋渡しをする。
 - (2) 第2回(平成24年6月13日)
 - ① 理事会結果報告
 - ・平成24年度やまゆり自主事業計画は承認された。
 - ・予算規模は昨年と同額を承認された。
 - ② チーム編成を行った
 - ・研修チーム
 - ・本人活動支援チーム
 - ・相談支援チーム
 - ③ 平成24年度事業計画
 - ・研修事業報告
第1回目
『施設内虐待を考える
～なぜ援助者が虐待に走るのか、その予防と解決のために』
講師：市川 和彦氏 会津大学短期大学部社会福祉学科教授
日時：平成24年7月30日(月)10:00～12:00
会場：県社会福祉会館2階ホール
 - ・本人活動支援事業報告
本人活動支援者支援会議の開催日は10月29日に決定した。
 - ・相談支援事業報告
本年度も試行期間どおり継続していく。
節目として半年に1度位ファイルの要約をし、ケースの報告等をする。
 - (3) 第3回(平成24年8月8日)
 - ① 各チームの現状報告をした。
 - ② 今後の予定を話し合った。
 - ・理事会報告(9月6日)の内容の確認を行った。
 - (4) 第4回(平成24年10月4日)
 - ① 研修事業報告
 - ・次回研修企画(1月)について報告した。
 - ・テーマ：“医療や健康に関するテーマで参加者が興味を持てるようなもの”にする。
 - ・講師：かながわ健康財団 事務局長 柴田則子氏・石田啓子氏
 - ・会場：未定
 - ② 本人活動支援事業報告
 - ・今年度の計画説明をした。
 - ・「本人・支援者会議」 10月29日(月)11:00～15:30
 - ・「支援者支援会議」 11月12日(月)13:00～16:00
 - ③ 相談支援事業報告
 - ・実績報告と分析をした。
 - ・3月末まで試行期間を延長し、やまゆりとして電話相談事業は会員サービスとして相当期間継続をしたいと4月理事会に答申したい。
 - (5) 第5回(平成24年12月17日)
 - ① 研修事業報告
 - ・次回研修会について決定したことの報告をした。



- ・日 時：平成 24 年 1 月 24 日 10:00~12:00
 - ・テーマ：「元気に生活するために～家族で健康寿命を伸ばす」
 - ・講 師：公益財団法人かながわ健康財団
柴田則子氏（保健師）、石田啓子氏（管理栄養士）
 - ・会 場：県社会福祉会館 2 階ホール
- (6) 第 6 回（平成 25 年 2 月 18 日）
- ① 研修事業・本人活動支援事業・相談支援事業ともに平成 24 年度の総括をし、来年度についての検討をした。
- ・やまゆり知的障害児者生活サポート協会としては自主事業は継続するという方針で決定した。

- (1) 第 1 回（平成 24 年 4 月 18 日）
20 名・293,550 円
- (2) 第 2 回（平成 24 年 6 月 20 日）
32 名・674,530 円
- (3) 第 3 回（平成 24 年 8 月 22 日）
23 名・501,280 円
- (4) 第 4 回（平成 24 年 10 月 24 日）
23 名・540,040 円
- (5) 第 5 回（平成 24 年 12 月 19 日）
26 名・668,650 円
- (6) 第 6 回（平成 25 年 2 月 19 日）
23 名・459,600 円



合計 147 名・3,137,650 円
※昨年度に比べ人数が 20 名、金額が 349,861 円減でした。
(以下余白)

5 給付審査委員会

やまゆり独自の差額ベッド費用補てん給付分（差額ベッド費用が 1 日あたり 3,001 円以上 5,000 円までの実費補てん）について審査し給付した。

平成 24 年度 やまゆり知的障害児者生活サポート協会 決算書

収 入				(単位・円)
科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
預り保険料	104,410,500	106,987,100	2,576,600	傷害等保険料
制度運営費	15,439,500	15,862,220	422,720	
雑収入	3,000	501,585	498,585	預金利息、障団連負担金戻入
繰越金	7,095,117	7,095,117	0	平成 23 年度から繰越
計	126,948,117	130,446,022	3,497,905	

支 出				(単位・円)
科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
事業費	3,100,000	2,304,061	795,939	
サポート事業費	3,100,000	2,304,061	795,939	
預り保険料	104,410,500	106,987,100	2,576,600	
全サボ会費	1,520,000	1,589,400	69,400	入会金@300、年会費@200
管理費	13,913,000	12,752,417	△1,160,583	
会議費	100,000	126,180	26,180	会議室使用料、お茶代
法定福利費	360,000	327,376	△32,624	事業主負担分
旅費	350,000	208,280	△141,720	理事・代議員旅費、給付審査委員旅費、全国サポート協会研修参加費
事務用品費	300,000	258,245	△41,755	事務用消耗品費、印刷用紙代等
印刷製本費	600,000	656,296	56,296	パンフレット等製作費（1 割負担分）、コピー等印刷経費、事務用機器関連品等購入費
通信運搬費	1,250,000	921,029	△328,971	切手等郵便料、電話・通信料、宅急便・メール便料
事務委託費	1,173,000	1,217,783	44,783	振替手数料・振替通知郵送料(83+50)、データ管理委託料
広告料	130,000	130,000	0	構成団体等機関誌広告料
所属手数料	1,100,000	1,144,050	44,050	事務手数料
賃金	4,600,000	3,948,858	△651,142	職員雇用経費
負担金	3,850,000	3,727,645	△122,355	障団連負担金（人件費、家賃、光熱費他）、社協会費
雑費	100,000	86,675	△13,325	
役務費	50,000	54,435	4,435	
予備費	3,954,617	6,758,609	2,803,992	
計	126,948,117	130,446,022	3,497,905	

平成 24 年度 責任準備金及び給付事業会計 決算書

収 入				(単位・円)	支 出				(単位・円)
科 目	予算額	決算額	増減額	備 考	科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
繰入金	0	691	691	預金利息	給付金	4,000,000	3,137,650	△862,350	差額ベッド費用補てん分
繰越金	15,412,295	15,412,295	0		支払手数料	100,000	13,440	△86,560	社協「サボ」残高証明書代
計	15,412,295	15,412,986	691		役務費		45,255	△41,305	振込手数料
					責任準備金	11,312,295	12,216,641	904,346	平成 25 年度へ繰越
					計	15,412,295	15,412,986	691	

平成 24 年度 サポート事業費会計 決算書

収 入				(単位・円)	支 出				(単位・円)
科 目	予算額	決算額	増減額	備 考	科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
一般会計より	3,100,000	3,100,000	0		サポート事業費	3,100,000	1,554,095	△1,545,905	自主事業 共催事業
雑収入	0	34	34	預金利息	一般会計へ	0	795,939	795,939	
計	3,100,000	3,100,034	34		計	3,100,000	3,100,034	34	

平成 25 年度 事業計画

- 1 総会の開催
- 2 理事会の開催
 - (1) 事業計画や予算の策定、決算等について審議、決定する。
 - (2) 事業負担金配分規程に基づき、各構成団体から申請のあった共催事業について当協会の共催事業としてふさわしい事業で

- あるかを審査し、事業負担金の配分を行う。
- (3) 神奈川県障害児者団体連絡協議会の構成団体として参画することに関する、負担金等について検討を行う。
- 3 事業推進委員会の開催
 - 昨年にひきつづき、隔月に 1 度会議を開き今年度事業の着実な推進を図る。

4 事業の実施

(1) 事業の種類

ア 第1種事業

当協会が単独で主催する事業をいう。

イ 第2種事業

当協会と構成団体である5団体と共催で行う事業をいう。

ウ 第3種事業

知的障害児者本人のために行う事業をいう。

県内における本人活動に対する研修や昨年度に引き続き支援者支援会議を開催する。

5 広報活動

広報誌「やまゆりニュース」を発行したり、構成団体の機関紙に広告を掲載し当協会の事業について情報提供し、会員の理

解を得るとともに、保険制度の内容を適時、適切に紹介する。

6 給付審査委員会の開催

当協会独自の給付である差額ベッド費用に係る給付について、必要に応じて随時(2ヶ月に1回程度)審査委員会を開催して審査し、正確な給付金額を決定し、給付する。

7 事務処理の円滑な推進

事業実施に係る構成団体等との調整を円滑に進めるとともに、加入手続きや会費の収納事務、団体保険に係る受付、差額ベッド費用に係る給付などについて、適切かつ迅速な処理に努める。

8 関係団体との連携

全国知的障害児者生活サポート協会や関東地区における協会との連携協力を深め、共通認識の上で適切な対応に努める。

(以下余白)



平成25年度 やまゆり知的障害児者生活サポート協会 予算書

収入				(単位・円)
科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
預り保険料	109,594,000	104,410,500	5,183,500	傷害等保険料
制度運営費	16,206,000	15,439,500	766,500	
雑収入	1,500	3,000	△1,500	預金利息
繰越金	6,758,609	7,095,117	△336,508	平成24年度から繰越
計	132,560,109	126,948,117	5,611,992	

支出				(単位・円)
科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
事業費	3,100,000	3,100,000	0	
サポート事業費	3,100,000	3,100,000	0	
預り保険料	109,594,000	104,410,500	5,183,500	
全サボ会費	1,603,000	1,520,000	83,000	入会金@300、年会費@200
管理費	14,375,500	13,913,000	462,500	
会議費	150,000	100,000	50,000	会議室使用料、お茶代
法定福利費	750,000	360,000	390,000	事業主負担分
退職金積立金	72,000	0	72,000	
旅費	300,000	350,000	△50,000	理事・代議員旅費、給付審査委員旅費、全国サポート協会研修参加費
事務用品費	450,000	300,000	150,000	事務用消耗品費(印刷用紙等)、事務用機器関連品等購入費
印刷製本費	660,000	600,000	60,000	パンフレット等製作費(1割負担分)、会報作成費、コピー等印刷経費
通信運搬費	950,000	1,250,000	△300,000	切手等郵便料、電話・通信料、宅急便・メール便料
事務委託費	1,243,000	1,173,000	70,000	振替手数料(83+50)、振替通知郵送料、データ管理委託料
広告料	130,000	130,000	0	構成団体等機関誌広告料
所属手数料	1,150,000	1,100,000	50,000	事務手数料
給与	7,110,500	4,600,000	2,510,500	職員雇用経費
支払手数料	290,000	0	290,000	監査手数料
負担金	1,020,000	3,850,000	△2,830,000	障団連負担金(家賃、光熱費他)、社協会費
雑費	100,000	100,000	0	会費返納金振込手数料
役務費	70,000	50,000	20,000	
予備費	3,817,609	3,954,617	△137,008	
計	132,560,109	126,948,117	5,611,992	

平成25年度 責任準備金及び給付事業会計 予算書

収入				(単位・円)	支出				(単位・円)
科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考	科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
繰越金	12,216,641	15,412,295	△3,195,654	平成24年度から繰越	給付金	3,500,000	4,000,000	△500,000	差額ベッド費用補てん分
					役務費	100,000	100,000	0	ネットバンク、残高証明書代
					責任準備金	8,616,641	11,312,295	△2,695,654	差額ベッド費用振込手数料
計	12,216,641	15,412,295	△3,195,654		計	12,216,641	15,412,295	△3,195,654	平成26年度へ繰越

平成25年度 サポート事業費会計 予算書

収入				(単位・円)	支出				(単位・円)
科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考	科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
一般会計より	3,100,000	3,100,000	0	一般会計から繰入	サポート事業費	3,100,000	3,100,000	0	第1種事業費、第2種事業費(850,000)、第3種事業費
雑収入	0	0	0		一般会計へ	0	0	0	
計	3,100,000	3,100,000	0		計	3,100,000	3,100,000	0	

やまゆり知的障害児者生活サポート協会 事務局(編集)
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
神奈川県社会福祉会館内
Tel:045-314-7716 Fax:045-324-0426

- 構成団体 ■
- NPO法人 横浜市手をつなぐ育成会
- 神奈川県手をつなぐ育成会
- (福)ともかわさき 川崎市育成会手をむすぶ親の会
- 神奈川県知的障害施設団体連合会
- 神奈川県知的障害者施設保護者会連合会